

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公開番号】特開2020-10857(P2020-10857A)

【公開日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-003

【出願番号】特願2018-135454(P2018-135454)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月8日(2020.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

可変表示を行い表示結果を導出する可変表示手段と、

可変表示に関する情報を保留記憶情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に応じた保留表示を表示する保留表示手段と、

前記保留記憶情報に基づく可変表示が行われるときに、当該可変表示に対応する対応表示を行うことが可能な対応表示手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

所定期間に亘って特別表示を表示可能な特別表示手段と、を備え、

前記演出実行手段は、前記所定期間中に複数種類の演出に対して前記特別表示が表示されたことに基づく所定演出を実行可能であり、

前記所定期間中に実行された前記所定演出の種類に応じて前記所定期間経過後に前記演出実行手段によって実行される複数種類の演出のうち、いずれの演出が実行されるかの割合が異なる、遊技機。

【請求項2】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

可変表示を行い表示結果を導出する可変表示手段と、

可変表示に関する情報を保留記憶情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に応じた保留表示を表示する保留表示手段と、

前記保留記憶情報に基づく可変表示が行われるときに、当該可変表示に対応する対応表示を行うことが可能な対応表示手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

所定期間に亘って特別表示を表示可能な特別表示手段と、を備え、

前記演出実行手段は、前記所定期間中に複数の演出に対して前記特別表示が表示されたことに基づく所定演出を実行可能であり、

前記所定期間中に実行された前記所定演出の実行回数に応じて前記所定期間経過後に前記演出実行手段によって実行される複数種類の演出のうち、いずれの演出が実行されるか

の割合が異なる、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、
可変表示を行い表示結果を導出する可変表示手段(例えば、CPU103)と、
可変表示に関する情報を保留記憶情報として記憶可能な保留記憶手段(例えば、RAM
102, RAM122)と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に応じた保留表示を表示する保留
表示手段(演出制御用CPU120)と、

前記保留記憶情報に基づく可変表示が行われるときに、当該可変表示に対応する対応
表示(例えば、アクティブ表示)を行うことが可能な対応表示手段(演出制御用CPU12
0)と、

演出を実行可能な演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120)と、
所定期間に亘って特別表示(例えば、ブラックホール保留95F001)を表示可能な
特別表示手段(例えば、演出制御用CPU120)とを備え、

前記演出実行手段は、前記所定期間に複数種類の演出(例えば、擬似連演出、保留
変化演出)に対して前記特別表示が表示されたことに基づく所定演出(例えば、吸引演出)
を実行可能であり、

前記所定期間に実行された前記所定演出の種類に応じて前記所定期間経過後に前記演
出実行手段によって実行される複数種類の演出のうち、いずれの演出が実行されるかの割
合が異なる(例えば、変形例に示すように、吸引演出の種類に応じて可変表示開始時にい
ずれの放出演出が実行されるかの割合が異なる)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(2) 遊技を行うことが可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、
可変表示を行い表示結果を導出する可変表示手段(例えば、CPU103)と、
可変表示に関する情報を保留記憶情報として記憶可能な保留記憶手段(例えば、RAM
102, RAM122)と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に応じた保留表示を表示する保留
表示手段(演出制御用CPU120)と、

前記保留記憶情報に基づく可変表示が行われるときに、当該可変表示に対応する対応
表示(例えば、アクティブ表示)を行うことが可能な対応表示手段(演出制御用CPU12
0)と、

演出を実行可能な演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120)と、
所定期間に亘って特別表示(例えば、ブラックホール保留95F001)を表示可能な
特別表示手段(例えば、演出制御用CPU120)とを備え、

前記演出実行手段は、前記所定期間に複数の演出(例えば、擬似連演出、保留
変化演出)に対して前記特別表示が表示されたことに基づく所定演出(例えば、吸引演出)
を実行可能であり、

前記所定期間に実行された前記所定演出の実行回数に応じて前記所定期間経過後に前
記演出実行手段によって実行される複数種類の演出のうち、いずれの演出が実行されるか
の割合が異なる(例えば、図8-3に示すように、吸引演出の実行回数に応じて可変表示

開始時にいずれの放出演出が実行されるかの割合が異なる)。